

2025

4・5 月号

vol.296

ボランティア・市民活動情報誌

COMVO

Communication & Voluntary

特集

「助け合い・支え合い・つなぐ未来」

合唱を通じて、こどもたちが
自信や輝きを見つける場所

Osaka Children's Choir Colorful
(おおさかチルドレンズクワイアカラフル)

- 4 ボラ基金交付団体へ突撃取材
ご近所さんがにぎやかに集う、交流の場
シャラナム
- 6 おいでよ!地域のこどもたち
こどもたちのリラックス空間
けんちゃんこどもの居場所



こどもたちの主体的な企画・行動から、多種多様な団体とコラボレーションして、コンサートを開催



合唱を通じて、こどもたちが自信や輝きを見つける場所

Osaka Children's Choir Colorful
(おおさかチルドレンズクワイアカラフル)

『おおさかチルドレンズクワイアカラフル』は、こどもたちが自ら主体的に企画・運営に関わる、こどもによるこどものための合唱団です。

こどもたちが自信を持ち、自身が社会に必要な一員であることを実感しながら、地域や社会で役立ちたい、というマインドをこどもたちが自ら見つけられるように活動しています。

ボランティア・市民活動の本質でもある、誰もが役割を持ちながら、自分のチカラで考え行動し、共に心豊かな社会を生きていくために。さまざまな個人や団体等を巻き込みながら取り組んでいる姿をご紹介します。

こどもたちが誰も活躍できる場をめざして

『おおさかチルドレンズクワイアカラフル』(以下、『カラフル』)は、代表の宮崎佐弥香さん(以下、宮崎さん)が、「こどもたちの心になにか残していけるようなことをしたい」と思ったことをきっかけに、仲間たちと2017年に発足。

「元々、宮崎さんが音楽と関わっていたことから、ごもたちと一緒に音楽を通じた社会貢献活動を実施したいと考え、高齢者施設での『一緒に歌うコンサート』や『チャリティーコンサート』をごもたちと企画し、実施しています。メンバーは、なんと下は0歳から上は22歳まで。さらに、幅広い層のボランティアスタッフが活躍しています。」

「音楽に限らず、なにか習い事を始めるにも、やっぱり金銭的に余裕が無いと難しいですよ。私自身が幼稚園教諭だったこともあり、ごもたちがさまざまな経験や体験を得ることは、家庭環境によって大きく差があることを痛感していました。だからこそ、やりたい気持ちさえあれば、誰でも平等に参加でき



ハンドタッチケアを通して、みんなが自然と笑顔に

る活動があればと思い、気軽に参加できる合唱を始めることにしたんです」と、宮崎さん。

宮崎さんが大切にしているのは、ただ、合唱を楽しむだけではなく、ごもたちが自分の得意なことを活かして役割を持ち、それぞれが輝ける場所をつくること。また、大人が活動を決めるのではなく、ごもたちが自らやりたいことを考え、活動を企画し、運営していくことです。

異世代交流がもたらす ごもたちへのポジティブな影響

『カラフル』が行っている活動の柱の1つである、高齢者施設での『一緒に歌うコンサート』は、ごもたちが合唱を披露するだけでなく、入所している高齢者への傾聴ボランティアや、植物の葉や花などから抽出した、天然香料のエッセンスシャルオイルを使ったハンドタッチケアなども行いながら、異世代交流を図っています。

「核家族化が進んでいる昨今、高齢の方とコミュニケーションを取る機会はとても少なくなっていますよね。そこで、幼い頃からおじいちゃん・おばあちゃんに関わる機会だったり、何か自分たちの才能を活かして、誰かに喜んでもらえる場があると、ごもたちは、自分が誰



大人顔負けの手技とコミュニケーション!

かの役に立っている」という経験につながると考えています」と、宮崎さん。また、それは、幼い時から経験するからこそ、価値観や知識の底上げにもつながり、誰もがさまざまな背景を抱えている事を理解できる心を育むことにもなるのだと教えてくれました。

高齢者施設でのコンサートでは、まづ、ごもたちによる合唱が行われます。歌う曲は、ごもたちが好きな流行りの曲から始まり、最後には「ふるさと」をおじいちゃん・おばあちゃんたちと一緒に大合唱。

その後、『カラフル』メンバーは、70人ほどいるおじいちゃん・おばあちゃんへ、順番にハンドタッチケアを行います。ごもたちは誰に言われるでもなく、膝を地面につけて視線を合わせながら、ハンドタッチケアの傍ら「好きなものはなんですか?」「今日は楽しかったですか?」と軽快にコミュニケーションを取ります。そんなごもたちとの関わりからか、おじいちゃん・おばあちゃんは喜びなが

ら目に涙を浮かべることも。また、帰り際には、「ごもたちとハグをして」「また来て欲しい!」と嬉しそうに話す姿が見られます。

※手や指を使って、相手の手に優しく触れることで、心と体を癒すケアのこと。

学びを深めて、 さまざまな事柄を 自分事のできるごもたち

2つ目の活動の柱は『チャイルド・ケモハウスチャリティーコンサート』です。チャイルド・ケモ・ハウス(以下、チャイケモ)とは、小児がんや難病のごもとその家族が滞在できる施設のことです。このコンサートは、参加しているこ



『チャイケモ』へ、想いよ届け!

©kaizakimaria



『チャイケモ チャリティ ウォーク』にも参加

どもたちの「自分たちも何か社会に役立つことがあるならやりたい」という声をきっかけに、チャイケモに滞在していることもたちへエールを届ける取組みとして、2018年に始めました。

この取組みは、小児がんや難病のこと、頑張って病氣と闘っている同世代のこともたちがいることについて、『カラフル』のこともたちがチャイケモの理事長から説明を受け、知り、学び、理解することから始まります。

「初めてチャイケモの話を聞いた『カラフル』のこともたちは、チャイケモで暮らすこともたちに、自分たちが何か力になれないか、勇気づけられないかと考え出してくれました。なにより、それを自分事として感じて、言葉に出して、実際に行動に移そうとする気持ちがあつたのではないかと。自分たちが一杯できることは何か、を考へる機会になるこ

とも、このチャリティーコンサートを実施する大きな意味だと思っているんです」と、宮崎さん。

もっとたくさんの人たちと関わり合い 充実した活動をめざして

『カラフル』では、さまざまなコンサートを開催するにあたり、他の参加団体との交渉や会場選定、選曲などの企画をこともたちが中心になって行います。そんな、こどもの頃からのボランティア活動への関わりにより、自身に長所が

ある事に気付けたり、才能を活かして社会貢献するなど、学校とはまた違う社会性をこともたちは存分に獲得しています。

例えば、以前は人前で話すことですら緊張したり、役割を与えられたものの、プレッシャーを感じて「もうできない!」と言っていたこともたちが、『カラフル』の活動を通じて、コンサートの場面では、自信満々に歌えたり、堂々とした司会姿を見せてくれるそう。「自信や自己肯定感を持って社会と関わるというのは、教えてできるものではないですよ。そんなこともたちの主体的な姿を見ると、良い影響を与えられたなあと思います」と、宮崎さんは嬉しそうに話します。

また、『カラフル』では他にも、地域のイベントに参加して合唱を披露したり、大学の幼児教育を専攻している学生とコラボしてイベントを行うなど、多くの人や団体とつながって、活動を広げています。

色々な人・団体を巻き込みながら、こともたちの主体性を育てている『カラフル』ですが、宮崎さんに言わせれば、それらはあくまでもぎっくかけだそう。

そこから誰とどんな風につなが



右から『カラフル』代表の宮崎さん、『チャイケモ』理事長の田村さん、『カラフル』副代表の大菊さん

がって、なにを創り出していけるのか。自分たちだけではできないかもしれないけれど、地域をはじめとした色々な人や団体とつながり、みんなが協力してそれぞれの地域や人生が豊かになること、自分自身の居場所を見つつけられることを目指しています。

全てのこともたちには無限に広がる個性と可能性があると信じて。また、こともたちが音楽を通して自分の長所を見つながら、11人の100歩より100人の1歩をモットーに、みんなで楽しみながら活動する『カラフル』。

みなさんも、そんな『カラフル』の活動に参加して、自分の輝きを見つけてみませんか。

おおさかチルドレンズクワイアカラフル

Eメール colorfulchoir@gmail.com

Instagram [@colorfulchoir](https://www.instagram.com/colorfulchoir)

https://childrens-choir-colorful.com

※令和6年度大阪市ボランティア活動振興基金
居場所づくり支援交付団体へ突撃取材

※福祉課題・地域課題のために開設した居場所の、継続的な運営を目的とした事業の支援

近所さんがにぎやかに集う、交流の場

シャラナム

西区の正福寺内にある『シャラナム』。サンスクリット語で「休息地」という意味をもち、独り暮らしの高齢者も安心して自分らしく過ごせるように、との想いから約7年前に活動がスタートしました。コンサートやドライフラワーリースなどの物づくり、自家製の梅酒や味噌づくりなどをみんなで楽しむ『よろず寺カフェ』、終（集）活や防災などの人生の学びを取り入れた『縁（えにし）ホーム』

を2階本堂で毎月開催。また、時候のよい季節には、境内でカフェ「ガーデンシャラナム」や、希望者を募っての野菜づくりも実施しています。

参加した人が次回は近隣の友人知人を誘って来たり、楽しそうな様子に飛び入り参加する人がいたり、多い時には30人ほどの人が『シャラナム』に集うように。自然とサポートし合ったり、自分の役割を担う場にもなっています。

一昨年前からは、『納涼夏まつり』を開催。近隣の子育て世代の家族連れや高齢者世代が訪れ、楽しい世代間交流が生まれています。

「多くの方に『シャラナム』を知ってもらい、気軽に立ち寄ってもらえれば」と、代表の須原悦子さん。地域の「お立ち寄りどころ」を目指しながら、楽しく活動を続けていきたいと話してくれました。



「ガーデンシャラナム」は、気軽に参加し、交流が楽しめる場

シャラナム

TEL:06-6532-0436
<https://sharanam.net/>



**優しい音色の竹の楽器で
心癒されるひとときを**

アングロングループ・メロン

アングロンはインドネシア・ジャワ島に起源を持つ竹製の楽器。同じ音程に調音された竹筒同士を揺らして鳴らすと「□□□□」と優しい音色を発し、複数人でいくつものアングロンを使い、ハンドベルのように音階を奏でながら演奏します。

『アングロングループ・メロン』は、かつて同じ職場で働いていた仲良しメンバー6人による演奏グループで、インドネシアでの在任経験を持つメンバーに集まり、アングロンを鳴らして遊



地域のイベントにアングロンの音色をお届け

長年の間、月に一度の練習日もほとんど皆勤だと話すメンバーの皆さん。活動を継続できる秘訣を尋ねると、「何よりも楽しいし、アングロンでの演奏は一人でもメンバーが欠けると完成しないから」との答えが。笑顔で頷き合う皆さんの姿に、絆の深さが垣間見えるようでした。

東住吉区ボランティア・市民活動センター
 TEL:06-6628-2020 FAX:06-6622-8973
<https://sawayaka-c.ne.jp/volunteer>



社会全体でこどもを支える仕組み

大阪市社会福祉協議会 地域こども支援ネットワーク事業の取り組み

こどもに関する課題を「他人事」ではなく、一人ひとりが「我が事」と捉え、地域住民と社協、地域団体、民生委員・児童委員、社会福祉施設、企業・団体などが一体となって、こどもの食や学習の支援をはじめ、こどもたちが身近に集うことができる居場所づくりを推進しています。

◇活動者や応援者のネットワークづくり

●地域こども支援団体連絡会

開催日：偶数月の第3金曜日 午前10時～正午

●区域のネットワークとの連携

◇活動拠点や活動者の拡充

●こどもの居場所づくりサポート講座

●こども支援活動に関する相談支援

◇企業や社会福祉施設の協力による物資提供

●こども支援団体への物資提供の調整

◇こども支援活動の啓発や広報活動

●啓発シンポジウムの開催

●ホームページでの情報発信

◇企業等の協力による、交流イベントや体験活動

企業等の協力により、様々な世代とふれあう交流イベントや、企業の強みを活かした職業体験活動などを実施し、こどもの文化的な活動や将来の夢や目標を持つことを応援しています。

ホームページは
こちらから



『こどもの居場所あんしん保険』のご案内

2025年度版

～こどもの居場所を運営する団体のボランティアスタッフと参加者を守る保険～

こどもの居場所等の活動の主催者が管理している設備の不備や、活動中に発生した偶然な事故によって、スタッフや参加者の生命や身体を害したり、他人の財物を滅失・破損・汚損した場合に、法律上の損害賠償責任を負担することによって被る損害に対して補償する保険です。

(この保険料は、大阪市が負担しており無料です)

■対象団体

「地域こども支援ネットワーク事業」に登録している団体(※登録により適用となります)
ただし、次の団体は除く

- ・地域こども支援ネットワーク事業に登録する団体を支援する中間支援組織
- ・市が直営で実施する事業
- ・市の委託により実施する事業補助・助成により実施する事業のうち、市が加入する『大阪市民活動保険制度』適用事業

■対象となる活動

登録時に記載した大阪市内のこどもの居場所等での活動

■保険対象期間

2025年4月1日～2026年3月31日まで ※登録が4月1日以降の場合は、登録日から適用されます。

問合せ

大阪市ボランティア・市民活動センター 地域こども支援ネットワーク事業
TEL:06-6765-4041 Eメール kodomo@osaka-sishakyo.jp

おいでよ！地域の子どもたち

子ども食堂や学習支援など、大阪市内各地で広がる「子ども居場所づくり」の取り組みをご紹介します。

「けんちゃん」子どもの居場所空間

けんちゃん子どもの居場所(天王寺区)



大きなソファにもたれて、ゆったりモード

『けんちゃん子どもの居場所』は、子どもが立ち寄り、遊んだり、子育て中の人たちがおしゃべりするフリースペースとして週に4日活動しています。「元々、子ども食堂を始めたいと思って、2020年にお店を始めました。結局子ども食堂ではなく、フリースペースになったのですが」とほほ笑むのは、嶋田祐規子さん(以下、嶋田さん)。

けんちゃん。開催場所は、嶋田さんご夫婦が営む「おにぎりカフェけんちゃん」のイートインスペース。お店が開いている日の午前11時～午後5時で活動していますが、お店が開いていない日でも「今日は、やっけないの?」と覗きに来る子もいます。活動を始めた当初は、絵本の読み聞かせなども行っていたそうですが、「子どもたちは自由に過ごすのが良いみたいなので、各々好きなことをして過ごす、この形式に落ち着きました」と、嶋田さん。

居場所の名称でもある「けんちゃん」は、嶋田さんのお子さんの名前。「けんちゃんがいってくれたから、いろいろな人に出会えた。この活動への原動力であり、ありのままを受け入れる大切さを学び、今の自分につながっていると感じています」と、嶋田さんは話します。どんな背景を持った子どもも、ここではみんな一緒。ありのままを受け入れることは、居場所活動をする上



放課後の待ち合わせ場所は「けんちゃん」

で最も大事にしていることだと教えてくれました。

放課後になり、『けんちゃん子どもの居場所』に集まってきた子どもたちは、まるで自宅にいるかのようにくつろぎ、室内の遊び道具で遊んだり、テレビを観たり、持参した宿題に取り掛かったりします。しばらくすると、自分のおやつを「この酸っぱいガム、危険なやつや」と紹介する子や、嶋田さんのまわりに寄



居場所を担当している嶋田さん

けんちゃん子どもの居場所
Eメール:kena2057@gmail.com

り「こんなことで喜んで〜」とってお手玉を披露する子も。「私がやりたいから、この場所を開いているだけなんです、小学校を卒業して、何年後かにふらっと立ち寄り、近況を報告しに来てくれる子もいるんです。子どもたちが、成長していく姿を見られるのがうれしいですね」と、嶋田さんは優しい笑顔で話してくれました。出会った子には、「こがほっとできる居場所だと感じてもらいたい。そんな想いを胸に、これからも『けんちゃん子どもの居場所』の活動は続いていきます。」

災害ボランティア活動に参加するには？

まずは正確な情報の収集を

災害発生後、“すぐにでも力になりたい”という思いがあっても、現地ではボランティアの受け入れ体制が整っていない場合があります。また、求められるニーズは災害や被災地によって異なるため、まずは被災地の状況を確認することが重要です。まずはボランティア活動を支援・推進している『全国社会福祉協議会』のSNSやホームページで最新の情報を確認してみましょう。



全国社会福祉協議会ホームページ <https://www.shakyo.or.jp/>

※災害直後、被災地の自治体では、緊急を要する様々な対応を行っています。直接電話をすることは絶対に避けましょう。

出発前に必要な備えを

現地でのボランティア受け入れが確認できたら、被災地に負担をかけないように、出発前にしっかり準備を行うことが大切です。災害ボランティアは“自分のことは自分でやる”が原則。往復の交通経路の確認や宿泊先確保に加え、在住地域の社会福祉協議会でのボランティア保険への加入も必ず行い、“自己完結”で被災地に入りましょう。

服装や持ち物は…？



活動しやすい軽装で、持ち物はコンパクトに

- 帽子、ヘルメット
- 軍手やゴム手袋
- 長袖・長ズボン
- レインウエア
- 飲食物
- マスク
- タオル
- 着替え
- 常備薬、救急用品
- 保険証 など



輪島市災害ボランティアセンターの様子(2024年9月)

災害ボランティアセンターで受付

被災地に入ったら、最初に災害ボランティアセンターで受付を行います。そして活動内容や場所、注意事項などについて説明を受けたら、チームに分かれて車等で活動現場へ移動します。活動中は自分の健康管理を十分に。また、被災者の気持ちや立場に配慮し、被災者中心の支援を心がけましょう。

災害ボランティアのニーズは、災害直後よりも数週間後から増えてくることが多くあります。また被災地では、被災者が安心して生活を送ることができるまで、息の長い支援が必要です。災害ボランティア活動に参加した際には、その体験を身近な人たちに伝え、ボランティアの輪を広げていきませんか？



被災地の復旧・復興を みんなの力で手伝い、支える ～災害ボランティア活動の始め方～

災害とボランティア活動

地震や台風、豪雨などの自然災害が発生した際に、被災地で様々な活動を担う『災害ボランティア』。その重要性は、1995年に発生した阪神・淡路大震災で、全国から延べ130万人以上がボランティア活動に参加したことから広く認識されることになりました。

また、同震災の際に、被災地でのボランティア活動を円滑に進めるためのしくみづくりが課題となり、その後、被災地でのニーズに対して効率よくボランティアを派遣・調整するための『災害ボランティアセンター』が誕生。大きな災害に見舞われた際には被災地に立ち上げられ、運営されるようになりました。



令和6年能登半島地震での災害ボランティア活動



被災地でのボランティア活動の一例

- 家屋の片づけ、清掃
- ごみやがれきの撤去
- 家屋からの泥だし(水害の場合)
- 支援物資、衣類の仕分け
- 避難所での手伝い(炊き出し、洗濯など)
- 避難者での高齢者・こどもの見守り
- 配食サービス、生活物資の訪問配布
- 引っ越しの手伝い など

※「災害ボランティアセンター」とは別に、民間の支援団体が担っている場合もあります。



ボランティア募集、イベント・セミナー情報いっぱい!

情報マーケット

Information Market

『参加してみたい!』と思ったら、
内容について聞いてみたいことがあれば、
各団体まで直接『コンボを見て』とお問い合わせください。



ボランティア
募集などの情報



イベント・講座・
セミナーなどの情報



その他、助成金
などの情報

OCVAC のウェブサイトから
団体ホームページに簡単アクセス!

- 1 気になる情報があれば、スマホで下記QRコードをQRコードリーダーで読み取る
- 2 画面を下にスクロールして『COMVO』最新号の表紙写真をタッチ
- 3 情報マーケットページで、気になる情報掲載団体の URL をタッチ
- 4 団体ホームページにアクセスできます!



★『COMVO』のバックナンバーもご覧いただけます

④天文観測会「火星、月、春の星を見よう」

関西で星を学ぶ会

<https://sites.google.com/view/kansaidehoshi/>

火星と月、春の恒星を本格的な天体望遠鏡で見ます。

日 程 5/10(土)
[1班]19:00~19:45 [2班]20:00~20:45

場 所 刈田南小学校(住吉区刈田10-1-35)
地下鉄「あびこ」駅4番出口から徒歩8分

人数・条件 どなたでも 定員:各班30~50人(先着順)
参加費:無料

申込方法 HP 締切:5/8(木) ※定員になると募集を終了

問合せ▶ Eメール k337yjunamg@gmail.com



土日祝
単 ↓

①不登校児童生徒の居場所 スタッフ募集

みんなの居場所 アジハラベース

<https://www.ajiharabase.net/>

こどもたちの話し相手として数時間過ごして下さるボランティアスタッフを募集しています。学生さんからシニアの方まで、資格・年齢は不問です。

日 程 学校登校日の火・水・木曜日(祝祭日、夏冬春休みは除く)
9:00~14:00の間で参加可能な数時間

場 所 アジハラベース(天王寺区味原町7-6)
地下鉄「鶴橋」駅1番出口、JR「鶴橋」駅中央改札口、
近鉄電車「鶴橋」駅西改札口から 各徒歩5分

人数・条件 どなたでも

申込方法 Eメール、HP、来所

問合せ▶ 〒543-0023 天王寺区味原町7-6
TEL/070-8475-1033 Eメール yc@ajiharabase.net



平日
単 ↓

⑤人生100年時代の社会貢献講座(全5回)

社会福祉法人 大阪ボランティア協会

<https://osakavol.org/>

人生100年時代のセカンドライフを豊かに暮らしませんか?経験やスキルを生かした社会貢献の魅力と現場体験を紹介し、新たな世界への扉を開きます!

日 程 5/15・22・29・6/12 各木曜日 各日18:45~20:30
現場見学:5/30(金)~6/11(水)の間で1回

場 所 大阪ボランティア協会(中央区谷町2-2-20 大手前類第1ビル2階)
地下鉄「天満橋」駅3番出口から徒歩4分
地下鉄「谷町四丁目」駅1番出口から徒歩4分

人数・条件 50代以上の方 定員:20人(先着順)
参加費:5,000円(全5回)

申込方法 HP 締切:4/30(水)

問合せ▶ TEL/06-6809-4901 FAX/06-6809-4902
Eメール office@osakavol.org



平日
単 ↓

②「御堂筋ふれあいバザー」開催のお知らせ

Daigasグループ“小さな灯”運動、大阪ガスネットワーク(株)

<https://network.osakagas.co.jp/effort/index.html>

障がい者の社会参加を目的に、福祉作業所で作られた授産商品(焼き菓子やパン、雑貨など)を中心に販売します。ぜひご来場ください。

日 程 4/22(火)~4/25(金)
各日11:00~15:00

場 所 大阪ガス 本社ガスビル 御堂筋筋い(中央区平野町4-1-2)
地下鉄「淀屋橋」駅13番出口から南へ徒歩3分

人数・条件 どなたでも

申込方法 申込不要

問合せ▶ TEL/06-6205-4545
Eメール tomoshibi@osakagas.co.jp



平日
単 ↓

⑥令和7年度 聴覚障がい者のためのいきいきセミナー

大阪市立総合生涯学習センター

<https://osakademanabu.com/umeda/>

聴覚障がいのある皆さんが楽しみながら学べる場。高齢期の整理収納・防災・防犯・認知症予防など、様々なジャンルを取り上げた、全5回の体験学習です。

日 程 6/11~7/9 毎週水曜日 全5回13:30~15:30

場 所 大阪駅前第2ビル5階(北区梅田1-2-2-500)
JR「北新地」駅直結
地下鉄「西梅田」駅南改札出口から徒歩5分

人数・条件 大阪市内在住か在勤の50歳以上で、聴覚に障がいがあり、手話通訳・要約筆記通訳を必要とされる方
参加費:無料 定員:40人(応募多数の場合は抽選)

申込方法 FAX・郵便・来所 締切:5/25(日)

問合せ▶ 〒530-0001北区梅田1-2-2-500
FAX/06-6345-5019



平日
単 ↓

③「聴くこと」を学んでみませんか? ファミリー子育て何でもダイヤル養成講座2025

公益社団法人 子ども情報研究センター

<http://www.kojoken.jp/>

ファミリー子育て何でもダイヤルは、1997年から子育ての不安や自身の悩みを抱えている方が安心して話せる場として、毎週水曜日に開設しています。

日 程 5/18・5/25・6/1 各日曜日 各回13:00~16:00

場 所 HRCビル(港区波除4-1-37)
JR「弁天町」駅北口から徒歩10分
地下鉄「弁天町」駅4番出口から徒歩15分

人数・条件 どなたでも ※必ず受講動機をお知らせください。定員:20人
参加費:3回連続受講/5,000円 単発受講/2,000円(1日)

申込方法 TEL・Eメール 締切:5/7(水)

問合せ▶ TEL/06-4708-7087
Eメール info@kojoken.jp



土日祝
単 ↓

⑪2025年度「シニアボランティア活動助成」 「ビジネスパーソンボランティア活動助成」

公益財団法人 大同生命厚生事業団

https://www.daido-life-welfare.or.jp/

社会福祉の推進に役立つボランティア活動を行っているか、または行おうとするシニア(年齢満60歳以上)が80%以上のグループ、および、ビジネスパーソン(会社員、団体職員、公務員、経営者、個人事業主)が80%以上のグループ(いずれもNPO法人を含む)。ただし、過去3年以内に当財団の助成金を受けたグループは除く。

助成金額 2つのボランティア活動助成をあわせて、原則1,200万円以内
1件 原則10万円。特に内容が優れている場合は20万円限度で助成

応募方法 HPから申込書をダウンロードし、記入のうえ郵送してください(※HP参照)

応募締切 5/25(日) (当日消印有効)

問合せ▶公益財団法人 大同生命厚生事業団 事務局
〒550-0002 西区江戸堀1-2-1 大同生命大阪本社ビル内
TEL/06-6447-7101 FAX/06-6447-7102

⑫令和7年度 赤い羽根共同募金助成申請受け付け (令和8年度実施事業対象)

大阪府共同募金会

地域福祉の推進を図るための社会福祉活動への助成を行っています。

助成対象 大阪府内で社会福祉を目的とする事業を行う法人・団体が、令和8年度(令和8年4月～翌年3月末)に実施する事業

助成金額 助成対象団体及び助成対象事業により異なる ※詳細はHPを参照

応募方法 HPから助成申請書(申請書様式)をダウンロードし、作成のうえ必要な添付書類を添えて提出。※詳細はHPを参照

応募期間 5/1(木)～5/20(火)
詳しくは大阪府共同募金会HPをご覧ください [赤い羽根おさか](#)

問合せ▶大阪府共同募金会
〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54 大阪社会福祉指導センター内
TEL/06-6762-8717 FAX/06-6762-8718
Eメール ai-kibou@akaihane-osaka.or.jp
(件名に「助成金の申請について」と明記してください)

⑬令和7年度 河原林富美福祉基金助成

大阪府共同募金会

故河原林富美氏による遺贈金により設置した基金です。社会福祉の領域で支援を要する事業に助成を行います。

助成対象 大阪府内広域で福祉ボランティア活動を行い、一定の要件を満たす団体が、令和7年8月～翌年3月末に実施する事業 ※詳細はHPを参照

助成金額 令和7年度助成枠 500万円以内
1団体につき上限30万円(ただし、申請は1団体1事業に限る)

応募方法 HP上にある申請書(様式1)をダウンロードして作成し、必要な添付書類を添えてメールにて提出。(※添付書類は郵送可)

応募締切 5/30(金)
詳しくは大阪府共同募金会HPをご覧ください [赤い羽根おさか](#)

問合せ▶大阪府共同募金会
〒542-0065 大阪市中央区中寺1-1-54 大阪社会福祉指導センター内
TEL/06-6762-8717 FAX/06-6762-8718
Eメール ai-kibou@akaihane-osaka.or.jp
(件名に「助成金の申請について」と明記してください)

⑭「第55回毎日社会福祉顕彰」の贈呈先募集

公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団

https://www.mainichi.co.jp/osaka_shakaijigyo/

全国の社会福祉関係の個人や団体から3件を表彰します

助成対象 (学術)社会福祉の向上に顕著な影響を与えた
(技術)児童、高齢者、心身障害者などの分野で独創的なスキル、プロセスで効果をあげた
(創意)施設、機器の改善、充実または活動実務で創意工夫や新技術導入で功績をあげた
(奉仕)長年にわたる国際、地域福祉で奉仕活動を続け、将来も継続する強い意志を持つ
(勤勉)社会福祉施設に30年以上上勤務し、顕著な成果をあげた
(その他)新しい分野を開き、時代のニーズに応える福祉活動をしている

助成内容 受賞者1件につき100万円と賞牌

推薦方法 推薦用紙をダウンロードして記入し、必要資料を添付のうえ郵送。自薦無効

応募締切 5/31(土) 必着

問合せ▶公益財団法人 毎日新聞大阪社会事業団
〒530-8251 北区梅田3-4-5 TEL/06-6346-1180
Eメール mainichi-osj@sirius.ocn.ne.jp

⑦淀川かわづくりパートナー募集!(淀川発見講座2025)

淀川管内河川レンジャー事務局

https://www.river-ranger.jp

淀川発見講座を受講して、川のボランティアははじめませんか。

日程 5/31(土)9:00～17:30

場所 京都経済センター(京都市下京区四条通室町東入函谷鉦町78)
京都市営地下鉄「四条」駅 北改札すぐ
阪急京都線「烏丸」駅26番出口直結

人数・条件 淀川流域に在住又は通勤・通学している令和7年4月1日時点で満18歳以上の方 定員:60人 参加費:無料

申込方法 HP 締切:5/20(火)

問合せ▶TEL/072-861-6801
Eメール cyuuou-kasen@nifty.com

⑧はじめての傾聴ボランティア講座を開催!

北区ボランティア・市民活動センター

http://osaka-kitakusyakyou.com

思いに寄り添う聴き方を学びます。ぜひご参加ください。

日程 6/3・10・17 各火曜日 各10:00～12:00

場所 北区社会福祉協議会(北区神山町15-11)
地下鉄「中崎町」駅3号出口から南へ徒歩5分
地下鉄「扇町」駅2-A出口から西へ徒歩8分

人数・条件 どなたでも(傾聴に関心のある方) ※応募多数の場合抽選
参加費:500円(資料代)

申込方法 TEL・FAX・Eメール・来所
締切:5/23(金)必着

問合せ▶北区在宅サービスセンター
〒530-0026 北区神山町15-11
TEL/06-6313-5566 FAX/06-6313-2921
Eメール kitamail@osaka-kitakusyakyou.com

⑨初級手話講習会を開催!

北区ボランティア・市民活動センター

http://osaka-kitakusyakyou.com

手話を覚えてみませんか?6か月で基本的な手話が身につきます。初級コース修了後、手話サークルでステップアップもできます。ぜひご参加ください。

日程 6/6～11/28 毎週金曜日(※祝日・第5週は除く)
各回18:30～20:30

場所 大淀コミュニティセンター(北区本庄東3-8-2)
地下鉄「天神橋6丁目」駅から徒歩8分
大阪シティバス「天神橋8丁目」から徒歩3分

人数・条件 初めて手話を学ばれる方対象 定員:40人 ※応募多数の場合抽選
参加費:無料

申込方法 TEL・FAX・Eメール
締切:5/27(火)必着

問合せ▶北区在宅サービスセンター 〒530-0026 北区神山町15-11
TEL/06-6313-5566 FAX/06-6313-2921
Eメール kitamail@osaka-kitakusyakyou.com

⑩「ビューティーケア・ボランティア養成基礎講習会」受講生募集

大阪府ビューティーケア赤十字奉仕団

高齢者支援活動・福祉・災害時の支援のほか、福祉施設などを訪問し、手・顔・肩へのケアと簡単なメイクなどを学びます。会話を楽しみながら、心のケアにも繋がるビューティーケアのトレーニングを学びます。

日程 7/12(土)10:00～16:30

場所 赤十字社大阪府支部会館(中央区大手前2-1-7 3階)

人数・条件 どなたでも 定員:20人(先着順)
参加費:3,000円(テキスト代)

申込方法 郵送(はがき) 締切:6/10(火)
宛先 〒572-0832 寝屋川市本町13-4
「ビューティーケア赤十字奉仕団」山田 法子 宛
※郵便番号・住所・氏名(フリガナ)・電話番号をご記入ください

問合せ▶SMSメール 080-6156-8884



①9第56回(2025年度)博報賞

公益財団法人 博報堂教育財団

<https://www.hakuhodofoundation.or.jp/prize/>

「博報賞」は、児童教育現場の活性化と支援を目的として、財団設立とともにつけられました。日々教育現場で尽力されている学校・団体・教育実践者の「波及効果」が期待できる草の根的な活動と貢献を顕彰しています。※詳細はHPを参照

応募要件 以下、すべての条件を満たし、現在も教育的な活動を続けている団体もしくは個人
・日本国内での活動であり、日本在住の子どもを対象とした活動であること。
・主に6~15歳が中心の活動。特別支援教育については、主に4~18歳が活動の中心であること。
・活動開始から3年以上経過していること。(※3年目の活動は審査対象外)
・過去に「博報賞」を受賞している場合、受賞時とは異なる活動内容であること
※応募には、推薦者資格を有する第三者による推薦が必須です。

応募方法 郵送・Web ※詳細はHPの「応募ページ」をご確認ください。

応募締切 6/25(水) ※財団必着(不備等の修正を含む)・Webはアップロード完了

問合せ▶ 公益財団法人 博報堂教育財団 博報賞担当
〒100-0011 東京都千代田区内幸町2-2-3 日比谷国際ビル14階
TEL/03-6206-6266(平日9:30~17:30) Eメール hakuhoshou@hakuhodo.co.jp



②02025年度(第51回)丸紅基金

社会福祉法人 丸紅基金

<https://www.marubeni.or.jp/>

全国の福祉施設や団体が必要とする設備、機器、車輛、家屋のほか、各種団体が行う調査・研究活動などの資金助成として、最大総額3億円を助成します。

応募要件 ・1件当たり上限300万円
・申込者(実施主体)は、原則として非営利の法人であること。
※法人でない場合でも3年以上の継続的な活動実績があり、組織的な活動を行っている団体は対象とする
・助成決定から1年以内(2025年12月から2026年11月末)に実施が完了する予定であること。
・一般経費の補填でないこと。
・申込案件に、国や地方公共団体の公的補助が見込めないこと。また、他の民間機関からの助成と重複しないこと

応募方法 HPの応募ページにEメールアドレスを登録後、Eメールに送付された申請用URLにアクセスし、必要事項の記入、必要書類のアップロードを行ってください。(※詳細はHP参照)

応募締切 6/30(月)(※23:59までに応募確定)

問合せ▶ 社会福祉法人 丸紅基金 〒100-8088 東京都千代田区大手町1-4-2
TEL/03-3282-3835/7591 FAX/03-3282-9541
Eメール mkikin@marubeni.com



②1第45回 緑の都市賞

公益財団法人 都市緑化機構

<https://urbangreen.or.jp>

緑の都市賞は、明日の緑豊かな都市づくり・まちづくりを目指し、緑の保全・創出活動に卓越した成果をあげている市民活動団体、企業および公共団体を顕彰し、これにより、広く都市の緑化推進、緑の保全による快適で地球にやさしい生活環境を創出することを目的に、1981年に創設されました。

応募要件 緑の市民協働部門：主に市民団体 ※行政や民間事業者との協働を含む
緑の事業活動部門：主に民間事業者 ※市民団体や行政との協働を含む
緑のまちづくり部門：主に市区町村 ※市民団体や民間事業者との協働を含む

応募方法 所定の応募用紙に必要事項を記入の上、緑化や緑の保全の成果が確認・比較できる写真(15~20枚)及び、その他の必要な書類を添えて送付(※詳細はHP参照)

応募締切 6/30(月)

問合せ▶ 公益財団法人 都市緑化機構内「緑の都市賞」事務局
〒101-0051 東京都千代田区神田神保町3-2-4 田村ビル2階
TEL/03-5216-7191 FAX/03-5216-7195
Eメール midori.info@urbangreen.or.jp

情報 求む!

ボランティアの募集情報や、ボランティア・市民活動に関するイベント・セミナーの告知情報を常時、お待ちしております。ごしどしお寄せください。



申し込み方法 専用フォームから情報をお寄せください。
<https://ws.formzu.net/fgen/S35245908/>

申込先・問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター ボランティア・市民活動情報誌[COMVO]編集室

天王寺区東高津町12-10 TEL/06-6765-4041 FAX/06-6765-5618

Eメール ocvac@osaka-sishakyo.jp (担当:泉)

※募集締切は掲載希望号発行月の前々月末日とします。(例:2025年8月15日発行号(8・9月号)に掲載希望の場合は2025年6月末まで)

おことわり

※受付・掲載有無について、編集室からはご連絡しません。※申し込み=掲載確定ではありません。誌面に限りもあり、ご希望に添えない場合があります。※掲載された場合は、編集室から問い合わせや申し込み状況などの反響についてお尋ねする場合があります。



②5ニッセイ財団 高齢・地域共生社会助成「実践的研究助成」

公益財団法人 日本生命財団

<https://www.nihonseimei-zaidan.or.jp/kourei/02.html>

「共に生きる地域コミュニティづくり」を基本テーマに、地域共生社会の構築に向けた地域包括ケアシステムに活かしていける、そして包括的支援体制が展開できる先駆的で汎用性の高い実践的研究について、助成を行います。※詳細はHP参照。

助成対象 研究者または実践家
※「若手実践的課題研究助成」は大学院博士課程在籍者も対象

助成金額 1.実践的課題研究助成 2年最大400万円(1年最大200万円)
2.若手実践的課題研究助成 1年最大100万円

応募方法 HPから電子申請システムにて申請(2025年度より変更)

応募締切 6/12(木)23:59

問合せ▶ 日本生命財団 高齢・地域共生社会助成事務局
TEL/06-6204-4013(平日10-17時)
Eメール kourei-fukusi@nihonseimei-zaidan.or.jp



②6ボランティア活動資金助成事業(令和7年度)

公益財団法人みずほ教育福祉財団

<http://www.mizuho-ewf.or.jp>

少子高齢化が進化するなか、共に生きる地域づくりにつながるボランティア活動(特に、高齢者や障がい児者の支援に係るボランティア活動、及び、子ども食堂等の子どもの居場所づくりに係るボランティア活動)に対して、必要となる資金を助成します。

助成対象 ①5人以上で活動する、非営利のグループ・団体(法人格の有無は問わない)
②グループ・団体結成後、3年以上の活動実績があること(令和7年3月末基準)
③令和4年度以降、当財団から助成を受けていないこと
④グループ・団体の規約(会則)、および年度毎の活動報告書、会計報告書類が整備されていること。また、グループ・団体名義の金融機関口座を保有していること。
助成金額 区分A「高齢者、障がい児者の支援に係るボランティア活動」:5~15万円
区分B「子ども食堂等の居場所づくりに係るボランティア活動」:5~15万円
※詳細はHP参照

応募方法 HPから申請書をダウンロードして作成のうえ、都道府県・指定都市または市区町村社会福祉協議会、あるいは行政の推薦を受け郵送 ※詳細はHPを参照
5/23(金)必着

応募締切 5/23(金)必着

問合せ▶ 公益財団法人 みずほ教育福祉財団 福祉事業部
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-1 Eメール fjp36105@nifty.com



②7第23回「配食用小型電気自動車寄贈事業」

公益財団法人みずほ教育福祉財団

<http://www.mizuho-ewf.or.jp>

高齢者を対象とした福祉活動を支援するため、高齢者向けに配食サービスを行っている民間団体などに対し、配食用小型電気自動車(愛称:みずほ号)の寄贈を行います。

寄贈内容 配食用小型電気自動車1台 事業規模:8台(8団体)(予定)

助成対象 ①高齢者を主な対象とし、原則として、1年以上継続して、週1回以上、調理・配達・見守り活動を一貫して行っていること
②非営利の民間団体(法人を含む)であること
※配食事業がすべて行政からの受託である場合は、当該部門の営業利益が赤字ではないこと
③配食用の車両が不足しており、本寄贈によって円滑化が見込まれること
④本寄贈を過去6年以内(令和元年度以降)に受けていないこと

応募方法 1.所定の申請書に必要事項を記入の上、都道府県・指定都市または市区町村社会福祉協議会、あるいは全国食生活活動方法のいずれかの推薦が必要
2.推薦団体経由または直接、申請書類一式を送付
※詳細はHP参照

応募締切 6/13(金)必着

問合せ▶ 公益財団法人 みずほ教育福祉財団 福祉事業部
〒100-0005 東京都千代田区丸の内1-6-1 Eメール fjp36105@nifty.com



②82025年度子ども文庫助成事業

公益財団法人 伊藤忠記念財団

<https://www.itc-zaidan.or.jp/summary/library/grant.html>

子どもたちに本を届けることを目的に読書啓発活動を続けている皆様を応援します。詳細はHPにアクセスいただき、応募(推薦)用紙に必要な事項をご記入の上、下記提出先までお送りください。

助成内容 ①子どもの本購入費助成(助成金30万円)
②病院・施設子ども読書活動費助成(助成金30万円)
③子どもの本100冊助成(当財団が選んだ児童図書セット)
④子ども文庫功労賞(個人の顕彰・賞金・記念品)※他薦
⑤特別支援学校図書支援助成(助成金30万円)

応募締切 6/20(金)(消印有効)

提出先 公益財団法人 伊藤忠記念財団 助成事業部
〒107-0061 東京都港区北青山2-5-1

問合せ▶ 公益財団法人 伊藤忠記念財団 助成事業部
TEL/03-3497-2651 FAX/03-3470-3517
Eメール bs-book@itc-zaidan.or.jp

NPO団体 リアルレポート

活発に市民活動に取り組むNPO団体からのメッセージをリアルタイムでお届けします。

中高生のためのクリエイティブハブ「よどがわベース」

認定NPO法人 CLACK

CLACKは「生まれ育った環境に関係なく、子どもが希望とワクワクを持てる社会」をビジョンに掲げ、世代を超えた貧困連鎖の解消を目指し活動している団体です。大阪・東京を拠点に無償のデジタル教育やキャリア教育を提供する他、デジタルを活用した居場所「よどがわベース」も運営。様々な困難を抱える中高生の自走に向けた伴走支援に取り組んでおります。

「よどがわベース」は、中高生年代なら誰でも無料で利用できるクリエイティブハブ（デジタル機材を揃えた居場所施設）です。日本財団、淀川区役所と連携協定を結び、2023年11月に開所しました。3Dプリンターやレーザーカッター、液晶タブレットなどを活用したものづくりや、動画編集、プログラミング、Webデザインなどにチャレンジできる環境を整えています。また、漫画やボードゲーム、大型ビーズクッションなど、のんびり過ごせるスペースもあり。一人ひとり

<https://yodogawa-base.clack.ne.jp/>

の興味関心に合わせてやりたいことを継続的にサポートし、精神的自立のための第一歩を踏み出せるようにします。季節行事、デジタルを活用した体験イベントなどを定期的に開催しています。詳しくはWebサイトをご覧ください。



3Dモデリングソフトで作品を制作中!

- 大阪市淀川区十三東4-1-5 よどがわベース
- 開館日：火・木・金 / 16時～20時
- メール：yodogawabase@clack.ne.jp

読者の皆さまへお知らせ



今年度から『COMVO』は偶数月(年6回)の発行に変わります。

いつも『COMVO』をお読みいただき、ありがとうございます。次号 6・7月号(vol.297)は6月15日発行となりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

大阪市ボランティア・市民活動センターでは、メールマガジン『こてぼら』を第1・第3金曜日に配信しています(※変更の場合があります)。ボランティア募集やイベント・セミナーの告知情報など、こちらの方にも、どしどしお寄せください。
※P11に掲載の『情報求む!』のフォームからお申込みください。



どうやって切ったら美味しいかな? 食べやすいかな?

こどもたちと過ごす大切な時間

これから社会に飛び出していく学生。さまざまな活動や人との交流ができるボランティア活動。興味を持つきっかけや、現在の活動、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなど、若者たちのリアルな声を届けます。

学生ボランティア活動

No.50

がんばれ!

連載リレーコラム

それゆけ!

私は大学で福祉について学んでいます。大学1年生のときに、教授から『寿みんなのいばしょ』の案内をいただき、「こどもと関わる活動してみたい」という以前からの思いもあり興味を持ち参加しました。

現在はこの活動を始めて3年目になります。具体的には夜ご飯と一緒に作って食べ、片付けまで行います。他にも身体を動かして遊んだり、カードゲームやボードゲームをしたり、宿題を持つてくる子には一緒に問題を解いたり分からない箇所を教えたりしています。また、夏休みには

イベントを企画して、プール遊びやうどん作りなど楽しい時間を過ごしています。

活動を続ける中で、こどもたちと信頼関係を築けることや成長を感じられることがとても嬉しいです。例えば「ニックネームで呼んでくれるようになったり、包丁を上手に使えるようになったり、自分から「これやるよ!」と積極的に手伝ってくれたりする場面がとても嬉しいです。また、他のスタッフとこどもの姿を共有する時間も私にとって活動を続ける意義を感じるひとときになっています。

関西大学 人間健康学部
町野 真生子



プロフィール

所属団体:公益財団法人住吉隣保事業推進協会
趣味:ライブに行くこと
学年:3年生

学生コラムライター大募集!!

情報誌『COMVO』では、ボランティア活動への思いを寄稿してくれる学生を募集中!!

ボランティアに興味を持ったきっかけや、いま活動していること、そこで出会った人たちや仲間とのエピソードなどを書いてみませんか?

対象 大阪市域でのボランティア活動に取り組む学生(大学生・専門学校生・高校生)
※活動分野は不問。在籍学校は市外でもかまいません。

内容 文字数500文字程度(ご本人の写真、活動中の写真もデータでご提供いただけます)

応募方法 右のフォームからお申込みください。エントリーいただいた方には折り返しご連絡いたします。

お問合せ先 大阪市ボランティア・市民活動センター
ボランティア・市民活動情報誌「COMVO」編集室
TEL.06-6765-4041 FAX.06-6765-5618 (担当:泉)

エントリーはこちらから▶



アンケートにご協力ください!

COMVOではよりよい誌面づくりのため、読者の皆さんに毎回アンケートのご協力をお願いしています。あなたのご意見や感想をお聞かせください。抽選で毎月3人に記念品をプレゼントします。

応募方法

- ①あなたの氏名、郵便番号、住所、性別、職業、年齢、電話番号、本誌入手先、読者歴をお書きください。
- ②下記の1～6の質問の回答をお書きください。

1. あなたのボランティア活動歴を教えてください。
ア なし イ 1年未満 ウ 1～4年 エ 5～9年 オ 10年以上
2. 活動歴のある人は活動内容を覚えている範囲で教えてください。
3. これまでに情報誌 COMVO を見て、ボランティア活動をしたことはありますか。
ア ある イ なし ウ まだ迷っている(その理由も教えてください)
4. 今月号で良かった記事は何ページですか? その理由も教えてください。
5. 本誌で取り上げてほしいテーマや活動、団体、行事、イベントなどがあれば教えてください。
6. その他、ご意見、ご感想を記入ください。

①、②の必要事項をFAXかハガキに記入のうえ、当センターまでお送りください。
※パソコン・スマホからも回答できます。

<https://ws.formzu.net/dist/S38892286/>

(宛先)

大阪市ボランティア・市民活動センター
「読者アンケート 情報誌COMVO296号係」まで
(住所は下記参照)



※締め切り 2025(令和7)年5月10日(消印有効)

※当選者の発表は記念品の発送をもってかえさせていただきます。
※お預かりした個人情報、本誌の内容向上と、記念品送付の目的のみに使用します。また、募集したテーマについてご意見を誌面に掲載する場合がありますが、個人を特定される記載は行いません。

編集後記

3月中は寒暖差が激しく、毎日の服装選びがすごく難しかったですが、4月ともなれば暖かくなり、日差しも心地よい季節となりました。

さて、今号は令和7年度の第1回目の発行となり、表紙もなんだかシティ派なデザインにリニューアル!

また、前号から今号にかけて、お知らせしてきたところですが、『COMVO』は今号以降、年間6回の偶数月発行に変更となります。しかし!とっても魅力的で色とりどりのボランティアや市民活動について、これまで以上に熱い想いを持って、ドシドシ発信していこうと思っております!

読者の皆さま、これからも引き続き、『COMVO』をご愛読いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



ボランティア・市民活動情報誌 コンボ 「COMVO」へ広告募集!

「普段着のわたし、ステキにいいこと」をコンセプトにしたボランティア・市民活動情報誌COMVO。

大阪のボランティア・市民活動情報が満載!市民が誰でも気軽に手に入れることができるフリーペーパーに貴社の広告を掲載しませんか。

- 体裁・発行・部数
B5判 16頁(フルカラー)年6回発行 各40,000部
- 広告申し込み締切
発行日の2ヶ月前(スペースに限りがありますので、お早めに申してください)
- 申込方法
下記まで問合せください



広告料金(税込)

掲載箇所 スペース	料金(税込)	版下サイズ(mm)
表4 1ページ	234,000円	240×170
表4 1/2ページ	127,500円	120×170
本文 1ページ	156,000円	240×170
本文 1/2ページ	85,000円	120×170
本文 1/4ページ	46,500円	60×170

※原稿は原寸大の完全原稿(データ)で入稿ください。
それ以外は別途製版料が必要です。
※掲載ページの指定はできません。
※内容により掲載をお断りする場合があります。

企画・発行

社会福祉法人 大阪市社会福祉協議会 ふれあいネットワーク

大阪市ボランティア・市民活動センター

Osaka City Voluntary Action Center

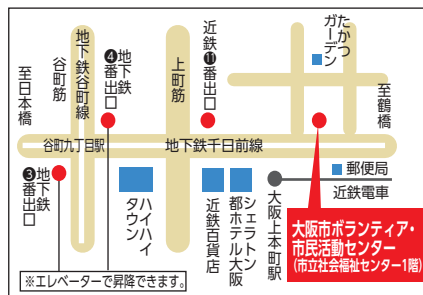
所在地/〒543-0021大阪市天王寺区東高津町12-10大阪市立社会福祉センター1F

TEL/06-6765-4041 FAX/06-6765-5618

E-mail/ocvac@osaka-sishakyo.jp <https://ocvac.osaka-sishakyo.jp/>

- 開館時間:午前9時～午後7時(月～金) 午前9時～午後5時30分(土)
- 休館日:日・祝・国民の休日・年末年始 ●発行日:2025年4月15日
- 発行部数:40,000部 ●制作協力:商工印刷株式会社 ●点訳協力:NPO法人ぼこ・あ・ぼこ

掲載写真についてはすべて、撮影・掲載の許可を得たものを使用しています。
●本誌は大阪府共同募金会の助成を受けて作成しています



「COMVO」主な設置・配布場所

阪神電車(梅田駅・野田駅)、大阪市サービスカウンター(梅田・難波・天王寺)、各区在宅サービスセンター(区社協)、大阪市役所・区役所、区民センター、クレオ大阪、大阪市内の各区図書館、大阪市立総合生涯学習センター・市民学習センター各館、大阪市商店会総連盟加盟商店街、大阪シティ信用金庫府内の店舗など

※OCVAC(大阪市ボランティア・市民活動センター)では、バックナンバーの閲覧、入手も可能です。

24区ボランティア・市民活動センター一覧

ボランティア活動に関するご相談をお気軽にお寄せください。

区名	所在地	電話(06)	FAX(06)
北区	北区神山町15-11 いきいきネット	6313-5566	6313-2921
都島区	都島区都島本通3-12-31 ふれあいセンター都島	6929-9500	6929-9504
福島区	福島区海老江6-2-22 あいあいセンター	6454-4553	6454-6331
此花区	此花区伝法3-2-27 此花ふれあいセンター	6462-1224	6462-1984
中央区	中央区上本町西2-5-25 ふれあいセンターもも	6763-8139	6763-8151
西区	西区新町4-5-14 にしながほり	6539-8075	6539-8073
港区	港区弁天2-15-1 ひまわり	6575-1212	6575-1025
大正区	大正区小林西1-14-3 大正区ふれあい福祉センター	6555-7575	6555-0687
天王寺区	天王寺区六万休町5-26 ゆうあい	6774-3377	6774-3399
浪速区	浪速区難波中3-8-8 浪速区在宅サービスセンター	6636-6027	6636-6028
西淀川区	西淀川区千舟2-7-7 ふくふく	6478-2941	6478-2945
淀川区	淀川区三国本町2-14-3 やすらぎ	6394-2900	6394-2978
東淀川区	東淀川区菅原4-4-37 ほほえみ	6370-1630	6370-7330
東成区	東成区大今里南3-11-2 ひがしなり	6977-6336	6977-6339
生野区	生野区勝山北3-13-20 おかちやま	6712-3101	6712-3001
旭区	旭区高殿6-16-1 あさひあったかセンター	6957-2200	6957-7282
城東区	城東区中央2-11-16 ゆうゆう	6936-1153	6936-1154
鶴見区	鶴見区諸口5-浜6-12 鶴見区在宅サービスセンター	6913-7070	6913-7676
阿倍野区	阿倍野区帝塚山1-3-8 阿倍野区在宅サービスセンター	6628-3434	6628-9393
住之江区	住之江区御崎4-6-10 さざなみ	6686-2234	6686-0400
住吉区	住吉区浅香1-8-47 いきいき	6607-8181	6692-8813
東住吉区	東住吉区田辺2-10-18 さわやかセンター	6628-2020	6622-8973
平野区	平野区平野東2-1-30 にこにこセンター	6795-2200	6795-2929
西成区	西成区岸里1-5-20 はぎのさと	6656-0080	6656-0668